



防犯機器搭載

タクシー(タクパト)の普及について

「タクパト」とは、ドライブレコーダーや通信機能を持たせた車載コンピューターシステムを搭載したタクシーのことで、運転手が事件・事故に遭遇した際に、タブレットの画面をワンタッチするだけで画像や位置情報を県警に通報することができます。

走行中に不審者などを発見した際にもワンタッチで位置情報を通報することができるため、県警への事件・事故の通報の迅速化が図られるほか、犯罪を未然に防ぐ効果も期待できます。また、「タクパト」全車両のドライブレコーダー画像を一元管理しており、県警から要望があった場合には、ドライブレコーダー画像を迅速に提供し、早期の事件の捜査に寄与することができ、本年3月には沖縄県警察本部生活安全部長から感謝状が授与されました。

お問合せ先



タクパトに掲示されるステッカー



システム搭載のタクパト車内

通報内容を選んで送信

県における犯罪抑止対策の一環として、沖縄・地域安全パトロール隊による防犯パトロール(青パト)を実施しています。これからも関係機関と連携し「青パト」と「タクパト」が沖縄県の犯罪抑止対策に最大限の効果を挙げるよう努めてまいります。

総務部 安心・安全対策推進官
☎ 098-866-0066

「財政」「税」について考える ～in沖縄国際大学～

性について考える必要があると思った」等の感想が寄せられました。

財務部では、今後も教育機関と連携し、若年層に向けた出前講座を実施していく予定です。

財務部では、地域の皆さまへ、財務省や金融庁の施策をお伝えするため、出前講座を実施しています。今号では、1月17日に沖縄国際大学(1年生約130名)で行つた出前講座について紹介します。

本講座は、令和元年7月以来2回目の沖縄国税事務所との合同開催となり、租税教室も実施されました。

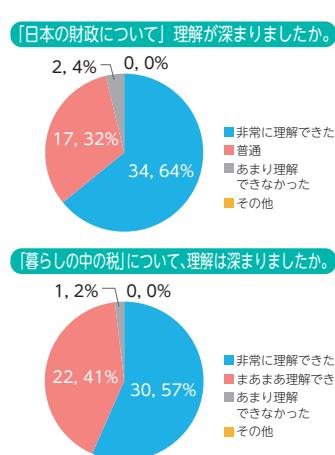
財政の講座では、「これから日本のために財政を考える」と題して、2023年度の予算を基に国の一般会計の歳入及び歳出についてお伝えし、30年前と比べ社会保障費が大きく伸びていること、その増加分を税収で賄うことができず、国の借金が増え続けていることなどを説明しました。その後、より社会保障や財政について知つてもらうために寸劇を通して、医療保険や消費税について賛成・反対の立場によって、様々な意見が続いて、「暮らしの中の税」と題して、身の回りの公共サービスや公共施設に係る費用が税金によって賄われていることについて説明しました。また、沖縄県の給与平均値を基に大学卒業後、就職した場合に税金をどのくらい納付することになるかシミュレーションを行いました。

事後アンケートでは、「日本の財政の未来を考えることは自分の将来を考えることだとわかった」、「財政の持続可能として運行しています。

お問合せ先
財務部 財務課(地域連携担当)
☎ 098-866-0091

△財務部職員による説明の様子

△寸劇を用いた説明の様子



財務部では、地域の皆さまへ、財務省や金融庁の施策をお伝えするため、出前講座を実施しています。今号では、1月17日に沖縄国際大学(1年生約130名)で行つた出前講座について紹介します。

本講座は、令和元年7月以来2回目の沖縄国税事務所との合同開催となり、租税教室も実施されました。

財政の講座では、「これから日本のために財政を考える」と題して、2023年度の予算を基に国の一般会計の歳入及び歳出についてお伝えし、30年前と比べ社会保障費が大きく伸びていること、その増加分を税収で賄うことができず、国の借金が増え続けていることなどを説明しました。その後、より社会保障や財政について知つてもらうために寸劇を通して、医療保険や消費税について賛成・反対の立場によって、様々な意見が続いて、「暮らしの中の税」と題して、身の回りの公共サービスや公共施設に係る費用が税金によって賄われていることについて説明しました。また、沖縄県の給与平均値を基に大学卒業後、就職した場合に税金をどのくらい納付することになるかシミュレーションを行いました。

事後アンケートでは、「日本の財政の未来を考えることは自分の将来を考えることだとわかった」、「財政の持続可能として運行しています。

沖縄県ハイヤー・タクシー協会の協力のもと、令和6年2月末時点で、県内タクシーの約8割がタクパトとして運行しています。

また、沖縄総合事務局では、沖縄